

令和 6 年度介護給付適正化会議の結果報告

点検項目と点検結果

点検項目

- ① 基本情報・アセスメントシート②ケアプラン 1 表③2 表④3 表⑤担当者会議録⑥モニタリング⑦支援経過記録⑧利用票⑨サービス事業提供所の個別サービス計画⑩課題整理総括表⑪ケアプラン自己点検シート⑫その他

点検結果

- ・ 点検件数: 17 件
- ・ 結果: 「1.基本情報・アセスメントシート」「2.ケアプラン 1 表、2 表、3 表について」「3.担当者会議録について」「4.モニタリングについて」等で改善の必要な点があった。

令和 6 年度介護給付適正化会議におけるケースの選定

令和 6 年度は以下のケースについて選定し、ケアプラン点検を実施

- ・ 施設入所中であり、施設ケアマネジャーが担当しているケース
- ・ 適正化会議の事例提出を依頼したことがないケアマネジャーが担当しているケース
- ・ ケアマネジャーと同一法人内の事業所で複数のサービスを利用しているケース
- ・ 明確な目的の違いがなく、複数の通所事業所に通所しているケース
- ・ 住所地特例施設に入所した方が、居住実態のない市内の居宅の住所に一度住民票を異動したうえで施設の住所に住所変更しており、保険者が変更しているケース
- ・ 施設入所後に、状態が急激に悪化しているケース
- ・ 軽度者の福祉用具貸与において、協議書等の必要書類が提出されていないケース(2月に文書通知・面談予定)
- ・ その他気になるケース

ケアプラン 点検時の気づきと助言・確認内容

1. 基本情報・アセスメントシートについて

- ・ 本人のこれまで生きてきた歴史や、好きなこと、頑張ってきたこと等に着目してプランを立てるために、生活歴にもう少し具体的な記載があるとよい。
- ・ 病識のアセスメントの記載があるとよい。
- ・ 課題分析が状況のみの記載になっているため、原因の記載があるとよい。

2. ケアプラン 1 表、2 表、3 表について

- ・ 目標は本人にとっての目標とし、本人がどうなりたいかを記載するとよい。
- ・ (誤嚥性肺炎を繰り返しているケースについて) 栄養や嚥下についての目標があるとよい。口腔機能向上が目標にあるとよい。
- ・ 本人は認知機能の低下があるため、認知機能低下の予防や支援に関する内容が入っているとよい。
- ・ 本人が自分でできることは自分で行うこと。支援時は、何ができないのかアセスメントし、どうするとできるようになるかという視点があるとよい。

- ・ 本人の意欲を引き立てるためにどのように声掛けを工夫するかの記載があるとよい。
 - ・ ケアプランのサインに日付を記載すること。
 - ・ ケアプランに家族が代筆で署名している。続柄を記載すること。
 - ・ 複数の通所事業所に通所している根拠を明記し、ケアプランに反映し、支援者間でも共有すること。
 - ・ (同一法人内で複数サービスを利用しているケースについて、その中の一部の)サービスを継続する必要があるか検討すること。
3. **担当者会議録について**
- ・ 欠席者がいる場合には意見を求めること。
 - ・ 担当者会議の記録の中に誰がどんな意見を発言したかの記録もあるとよい。
 - ・ 担当者会議の中でも、本人が好きなこと等を共有し、どのように支援していくかを検討できるとよい。
4. **モニタリングについて**
- ・ 状態がよくなったと判断する根拠の記載があるとよい。
 - ・ モニタリング記録の今後の対応が『変更』になっている場合、本人の状態がどのように変化したため、どのように計画を変更していくかという記載が必要。
 - ・ モニタリングの中の本人の満足度は、どういった点から評価しているのか。具体的な理由の中に、もう少し具体的な評価の視点の記載があるとよい。
5. **その他**
- ・ FAX でのやり取り時は、個人情報消すか、FAX 以外の方法でやり取りを行うこと。
 - ・ 記録の中の誤字に注意すること。
 - ・ 経過記録には正確な日付けを記載すること。
 - ・ 転倒後の事故報告書の提出は済んでいるか。
 - ・ 認知症が進行してからは、施設を選択する際にグループホーム等を視野に入れたか。
 - ・ 市外から市内の住所地特例施設に入所した方が、居住実態のない市内の居宅の住所に一度住民票を異動し、保険者が変更しているケースがみられる。介護保険制度に則した適切な運営を行うこと。

ケアプラン点検の結果と課題

- ・ 適正化会議での意見について、ケアマネジャーに対して文書による通知を行い、その後、面談による確認作業を行った。面談では、指摘することに終始せず、ケアマネジャーが工夫していることや苦慮していること等の現状の聞き取りも行い、今後につなげるように心がけた。
- ・ 必要な記録が欠如しているケース等は再提出を依頼し、適切な運用につながるよう支援した。
- ・ 事例提供されたケアマネジャーからは、自己点検シートを活用することで、「振り返りをするのができた」「自分の気づきにつながった」という前向きな意見が多く聞かれた。一方で、施設ケアマネジャーからは、「居宅のケアマネジャー向けのシートであり、記載しにくい部分があった」という声もあったため、内容の検討が必要である。